



SEA 中間研修・CIR 中間研修を行いました

(一財)自治体国際化協会 JET プログラム事業部研修・カウンセリング課 Oliver Marshall

はじめに

JET プログラム事業部では、JET プログラム参加者の業務能力向上のため、各種研修を実施しています。

2025年10月から11月にかけて、スポーツ国際交流員（SEA）および国際交流員（CIR）を対象とした研修を行いました。ここでは、2つの研修で実施した内容をピックアップしてご紹介します。

SEA 中間研修

2025年10月20日から22日の3日間、東京都でSEA 中間研修を実施しました。本研修には、SEA 11人および任用団体の担当者4人が参加しました。

・講師による講義

1日目には、基調演説として「日本のスポーツ教育の現状・部活動の地域移行に係る地域人材の発掘」の講義、2日目には、「異文化コミュニケーション」「子供のけが防止」の講義を実施しました。スポーツ教育におけるSEAの役割などについて考える貴重な機会となりました。

・コーチング実演

SEAによるスポーツ指導の実演を行いました。参加者同士で、それぞれの専門のスポーツのコーチングを実際に体験し、フィードバックを行うことにより、指導能力の向上を図りました。今回はバレーボールと陸上競技を実施しました。

SEAは、JETプログラムの他の職種である外国語指導助手（ALT）やCIRと異なり、特定言語の必須要件がありません。今回受講したSEAは多国籍でしたが、受講者同士の母国語が違う中でも、コミュニケーションを取り、ともにスポーツを楽しむという実践的な内容となりました。

実演後には、受講者同士で、コーチング方法についての質疑応答も活発に行われました。



コーチング実演①（バレーボール）



コーチング実演②（陸上競技）

・グループディスカッション（問題解決）

SEAの活用現場で実際に起こりうる問題について、受講者同士が改善策を話し合いました。当部で用意したシナリオは、職場でのコミュニケーションについて言及するもので、SEA目線と任用団体目線の両方から作成しました。

SEAと任用団体担当者が互いの立場になって、双方が歩み寄る解決策について考えたこの経験は、普通の業務にも生かしていただけることでしょう。

CIR 中間研修

11月26日から28日の3日間、東京都で全国のCIRに向けて研修を行いました。

1日目と3日目は参加者全員が同じ部屋で受講し、2日目は4部屋にわかれて受講しました。2日目にはネットワーキングの時間をとり、CIR同士が交流できる場となりました。

・選択講義

受講者それぞれが以下の4つの講義の中から希望する講義2つを選んで受講しました。

- ① SNS と観光誘客
- ② 効果的なデザイン
- ③ 翻訳・通訳者へのインタビュー
- ④ 異文化理解

①では、自身の自治体の魅力を見つけ、SNSの効果を最大限に引き出す方法を学びました。有名な観光地だけでなく魅力あるポイントの探し方、閲覧者を惹きつける投稿の工夫は、CIRの業務に大変役立つものとなりました。

③では、プロの翻訳・通訳者を講師としてお招きし、インタビュー形式で講義を実施しました。日頃の悩みをプロに相談できる機会とあり、参加者から相次いで質問があがりました。



選択講義（SNSと観光誘客）

・事例発表

CIR 4人より、自身の経験をもとに業務遂行のコツを発表しました。テーマは自治体のデジタルブランディング、国際交流から始まるインバウンドツーリズム、多

文化共生および翻訳で、受講者は聞き入っている様子でした。

普段他のCIRの具体的な業務内容を知る機会がないなかで、先輩CIRの経験やそれに基づく考え方について学ぶことは、受講者にとって刺激になったことでしょう。

・ネットワーキング

各6人ずつのグループになり、事例発表のテーマで意見交換を行いました。それぞれの自治体での課題について意見を交換し、共通する課題に対する解決策についてディスカッションしました。また普段交流のないCIRとつながるきっかけとなりました。



事例発表（翻訳）

・ビジネスマナー

最終日は、来日直後オリエンテーションでのビジネスマナー講義からワンランク上のマナーとして、電話対応やメールの書き方を学びました。日頃CIRは日本語を使用して業務を行いますが、相手が見えない電話やメールのマナーに不安を覚えることも多いです。日本独特のあいさつや丁寧な返答の仕方を学ぶことで、早速翌日からの業務に役立てていただけることでしょう。

研修を終えて

今回ご紹介した2つの研修は、全国津々浦々で活躍するJETプログラム参加者が一堂に会し、研修を受けるとともに交流を深める機会となりました。ご協力いただきました関係者の方々に感謝申し上げます。また、今回の研修が、受講者の皆様にとって、実りあるものとなっていれば幸いです。